

## (未来医学研究会のいま<特集II>)会員 (OB/OG) 近況報告

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-11-09 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 山田, 典弘, 本間, 徳子 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.20780/00031725">https://doi.org/10.20780/00031725</a>

## 会員 (OB/OG) 近況報告

BMC40期修了生  
山田 典弘  
Norihiro Yamada

早いものでBMC受講から約10年経ちました。その当時と比べると、変化していない事も、変化した事もあります。

変わっていない事の一つとして、外科用手術機器の新製品開発を続けていることが挙げられます。ささやかながらも医療分野で社会貢献し続けられることは何よりの喜びです。

もちろん、変化したことも沢山あります。その中でも、試練の時、充実の時、様々な時期がありました。会社の不透明な財務処理で世間の信用を一度は失った試練の時もありました。一方で充実の時もありました。今から約5年前、我々の部署が開発してきた新製品を遂に市場導入した時のことです。この新製品は、我が社にとっては全く新しい分野の、世界にとっては全く新しい原理を活用したものです。大変名誉なことに、その成果は社内外から評価されました。私と同じ部署のある人は社長賞、別の方はグッドデザイン賞などを授与され、私自身も日本チタン協会から開発功労賞を受け賜りました。おかげさまで部の売り上げは約5倍に、部員も約2倍に増加することに。今はまさに成長の時期、事業拡大の機会を逃すまいと日々研鑽しています。

BMCの中で印象に残った授業のひとつに免疫学があります。大変失礼ながら教えていただいた先生のお名前は忘れてしまったのですが、抗体の構造を知ったときの感動は今でも忘れられません。抗体の末端にある超可変領域は分子数から考えうるウイルス、微生物、細菌のバリエーションを超えていて、宇宙に存在するかもしれない未知の病原菌にも対応できる極めて精緻なシステムである

ことに非常に驚きました。また、胎児には抗体は存在しても、免疫システムは存在しない。生後数ヶ月をかけて自分自身を攻撃する抗体だけ体内から除外することで免疫システムを完成させることを教えていただき、自己形成過程について新たな気づきを得られたと感じました。

真白な紙から鋏で切り抜かれることで、切絵のように自分自身が現れる。自己ではない外部なしには自己を定義することはできないことを、免疫システムは示唆しています。BMC修了から現在までの間に、私たちの日々の行いや価値の提供に対して、顧客、社内の関係者、協業メーカーの皆様から様々なご評価をいただきました。外部環境に依存せず自己実現できてこそ理想的な自立した人間と言えるのかもしれませんが。一方で、外部からの評価なしには実在する環境下での自分自身を定義付けることはできない。そのことを実感した、この10年でした。

私見ではありますが、正直に申しますとBMCで学んだことが直接業務に役に立つことは極めてまれなことだと思います。しかしながら、既知の自己と既知の外部以外の未知の外部を新しく知ることが未知の自己を知ることに繋がる。先生と事務局の方々及び同期の皆様には、今までにない新しい視点を得る機会を下さったことに深く感謝いたします。今後、事業環境の変化や、予期していない競合の出現など、試練の時期も必ず来ることでしょう。その時にこそ、未知の自己を知る良い機会だと捉えて、これからの10年も実り多きものになりたいと切に願っています。

BMC32期修了生  
本間 徳子  
Noriko Honma

さっき数えてみたら、BMC受講のため豊橋から新幹線通学していたのはもう16年も前。びっくりです。同期の皆さん、元気ですかー？

翻訳業を続けています。2016年11月に5冊目の訳書『スリープ・レボリューション』（日経BP社）が出ました。みんな買ってやー！（冗談はともかく、同書の著者は「ハフントンポスト」の創業者、アリアナ・ハフントン。睡眠を削って働いてきた経営者が、睡眠の大切さを身をもって知り、「睡眠危機」の現代社会を変えようと書き上げた一冊です。ジャーナリズムの一線にいた著者だけあって学術的な裏付けもしっかりしています。健康維持にも、傷病からの回復にも、十分な睡眠が不可欠。人々の健康を守る社会になるよう、一人でも多くの人に本書のメッセージが届けばと願っています。ぜひ、お手に取ってみてください。）



私生活では会社員の夫と小2の息子と3人で浜松在住。趣味(?)としては、学生時代からやっているへなちよこ空手を細々と続けています。写真は“おばか年中行事”寒稽古での1枚。ムスコも去年から空手を始めたので、そろそろ戦いごっこで負けそうです。

大和先生が前号で提言された、本会の「BMEの同窓会としての役割」、わくわくしながら拝読しました。ここには、普通なら出会えないような様々な職種や立場の方がたくさんおられると思うので、同期の人たちはどんなふうに過ごされてるのか、ほかの期にはどんな人がいらっしゃるのか、近況や情報、ぜひ聞きたいです。本欄の気楽な充実に期待します。

